

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	ライフサイエンス研究開発推進経費		担当部局庁	研究振興局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 板倉康洋		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ライフサイエンス分野の研究開発の推進全体に必要な経費及び、生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する調査検討及び法令に基づく審査等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	-	40	39	36	69
		補正予算	-	-	▲4	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	40	35	36	69	
	執行額	-	32	28	-	-	
執行率(%)	-	79.4%	79.1%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	本事業は、ライフサイエンス分野の研究開発について、効率的・効果的に推進すること等を目的としており、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、成果目標を定量的に示せるものではない。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ライフサイエンス分野の研究開発推進に伴う生命倫理・安全対策に関わる会議等の回数		活動実績 (当初見込み)	-	14	20	-
	※ただし、本経費の執行に当たっては、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であることから、活動実績の見込みを定量的に示せるものではない。			-	(-)	(-)	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	本事業はライフサイエンス分野において効率的・効果的に研究開発を推進すること等を目的としており、活動実績の見込みを定量的に示せるものではなく、1単位当たりのコストを記載することにはなじまない。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	19.9百万円	28.6百万円				
	諸謝金	0.8百万円	3.3百万円				
	職員旅費	3.1百万円	15.1百万円				
	委員等旅費	0.6百万円	8.8百万円				
	庁費	11.7百万円	12.9百万円				
	計	36.0百万円	68.7百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。			

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	ライフサイエンス研究は、国民生活の向上及び国民経済の発展に大きく寄与するものであり、国は研究の進展に伴う諸課題への対応を図る必要があるとともに、研究の実施に当たっては必要に応じて国が定める関係法令等の遵守が必要となる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	生命倫理・安全対策に関わる諸問題に対する調査検討及び法令に基づく審査等の実施に必要な旅費や人件費等の経費を計上している。なお、不用率については、借料の節約等によるものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	遺伝子組換え生物等の第一種使用規程の承認に当たっては、法に基づき学識経験者へ意見聴取を行うこととしているが、その意見聴取に当たり検討会を開催する場合にあっては、その検討会については、環境省と協同で実施し、開催に係る費用についても交互に負担しており、適切に役割分担をしている。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	232	遺伝子組換え生物対策費	環境省			
点検結果	各種指針や法令に関する講習会について、内容、実施回数等を精査し、効率的に制度の周知を実施すること等、適切な処理に努めている。 なお、本事業は、ライフサイエンス研究の実施に際して、法令に基づく審査、諸問題への対応に係る実施状況調査、説明会による法令等の周知を図るための経費であり、研究の進展・動向を踏まえた適時適切な内容が必要であるとともに、法令等の改正や申請等の関係から計画的な執行を行うことが困難な面も有しているが、平成25年度予算では、単価見直し等により事業費を削減するなど予算額を縮減している。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点：本事業は、効率的・効果的に研究開発を推進するための実態調査・推進方策の検討を行うとともに、生命倫理・安全対策に関わる諸課題への法令等による対応、事業者への法令等の遵守の徹底を図ることを目的に実施しているものであり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：本事業は、平成24年行政事業レビューの指摘を受け平成25年度予算では単価の見直し等により事業費を縮減しているところであるが、平成24年度決算においても不用額が生じていることから、引き続き不用額が生じたより要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	ライフサイエンス研究の実施に際して、法令に基づく審査、諸問題への対応に係る実施状況調査、説明会による法令等の周知を図るための経費について、研究の進展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であるとともに、法令等の改正や申請等の関係から計画的な執行を行うことが困難な面も有しているが、平成24年度決算で生じた不用額を踏まえ、会議開催回数の精査等により、概算要求に▲0.1百万円反映した。					
備考						
文部科学省ホームページ：生命倫理・安全に対する取組 http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/seimei/main.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	新23-0052	平成24年	0261

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

A. 文部科学省

28.0百万円

非常勤職員手当	15.0百万円	} を含む
諸謝金	0.5百万円	
職員旅費	2.8百万円	
委員等旅費	0.2百万円	
庁費		

※四捨五入の関係で費目合計が一致しない
※庁費は消耗品等の購入等であり、1件百万円以上の支出はない。

ライフサイエンス分野において、効率的・効果的に研究開発を推進するため国内外の研究の状況や社会ニーズ等を把握するための実態調査を行うとともに、ライフサイエンス分野の中でも特に重要な先端医学研究、研究基盤整備の推進方策について検討を行う。また、最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	非常勤職員手当	15.0			
庁費	事務経費(複写機借料、消耗品等)	9.5			
職員旅費	生命倫理・安全対策に関する調査等	2.8			
諸謝金・ 委員等旅費	生命倫理・安全対策に関する調査等	0.7			
計		28.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0